

さいたま市防災カルテ

七里中学校区

①学区の概況と課題

◆学区の概要

- 【位置】見沼区の東部に位置し、岩槻区・緑区と隣接している。
- 【土地利用】学区の北西部に住宅地が広がっており、北部に警察署、西部に団地があり、東部に田畑が広がっている。
- 【交通】学区北部に県道65号、北西に105号が走っている。

◆学区の位置



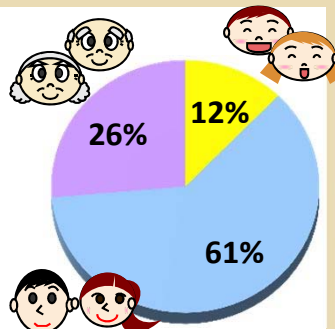
◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.1)	6強 (6.0)	6弱 (5.6)			
最小震度	6弱 (5.7)	5強 (5.4)	5強 (5.1)			
死者	4人 (0.0%)	3人 (0.0%)	0人 (0.0%)			
負傷者	61人 (0.5%)	54人 (0.4%)	5人 (0.0%)			
避難者	439人 (3.5%)	413人 (3.3%)	24人 (0.2%)			
全壊建物棟数	116棟 (3.0%)	101棟 (2.6%)	1棟 (0.0%)			
うち焼失棟数	32棟 (0.8%)	32棟 (0.8%)	0棟 (0.0%)			
半壊建物棟数	521棟 (13.4%)	462棟 (11.9%)	74棟 (1.9%)			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	82棟	0棟	0棟	65棟	0棟	0棟
床下浸水建物棟数	219棟	0棟	0棟	325棟	0棟	0棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

◆人口概況 (平成22年国勢調査)

	七里中学校区	全市平均
総人口	12,679人	
人口等		
0-14歳	1,549人 (12%)	(14%)
15-64歳	7,784人 (61%)	(67%)
65歳以上	3,346人 (26%)	(19%)
人口密度	3,101人/km ²	5,766人/km ²



【地震】さいたま市直下地震の震度が最も大きくなっている。他の地域と比べ、相対的にはどの地震の場合でも被害率は低い。

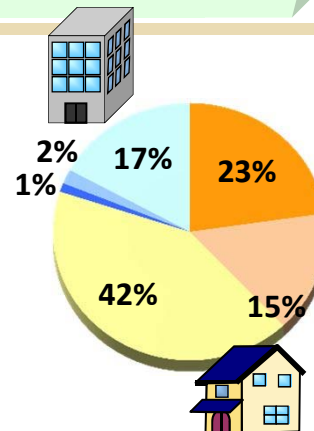
【水害】荒川、芝川等(加田屋川)が氾濫した場合、**地区の1.0%程度が浸水被害**を受ける。

◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称
避難場所	七里中学校、東宮下小学校、七里小学校、県立大宮東高等学校、七里公民館
一時・広域避難場所	
市・区役所等窓口	七里支所
消防署・出張所	
警察署・交番	大宮東警察署、七里交番
救急病院	医療法人一成会さいたま記念病院
応急給水場所	七里小学校

◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

	七里中学校区	全市平均
総建物棟数	3,889棟	
建物		
木造(昭和46年以前)	883棟 (23%)	(17%)
木造(昭和47-55年)	595棟 (15%)	(12%)
木造(昭和56年以後)	1,635棟 (42%)	(45%)
非木造(昭和46年以前)	43棟 (1%)	(1%)
非木造(昭和47-55年)	70棟 (2%)	(3%)
非木造(昭和56年以後)	663棟 (17%)	(21%)



◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

- 【耐震化】古い木造建物が多い地区のため、**耐震化率の向上が必要**。
- 【避難】高齢者層が多く、**地域で協力した避難行動・救助活動が必要**。

● 全市平均と比較すると、**65歳以上の高齢者層が多い**。

● 全市平均と比較すると、いわゆる**旧耐震基準の木造建物が比較的多い**。

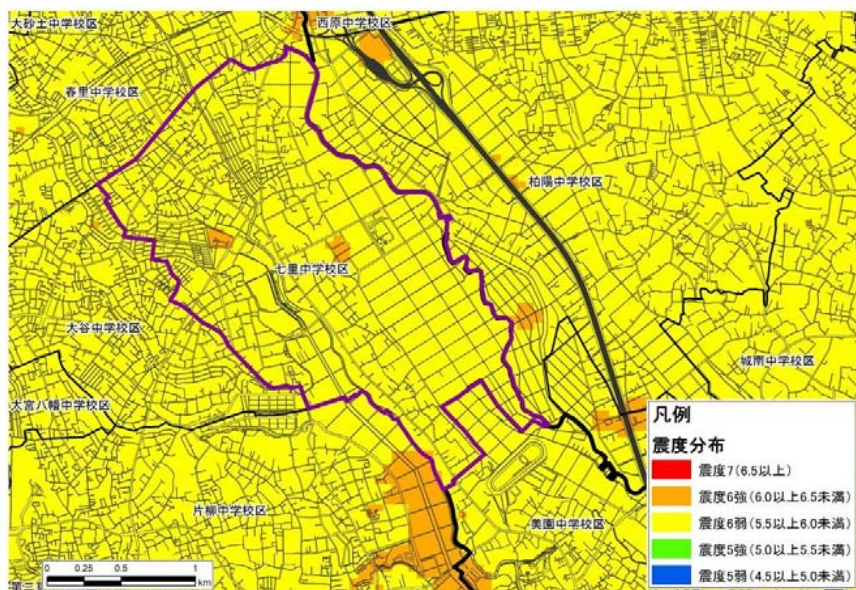
本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。

②さいたま市直下地震の想定 **さいたま市防災カルテ**

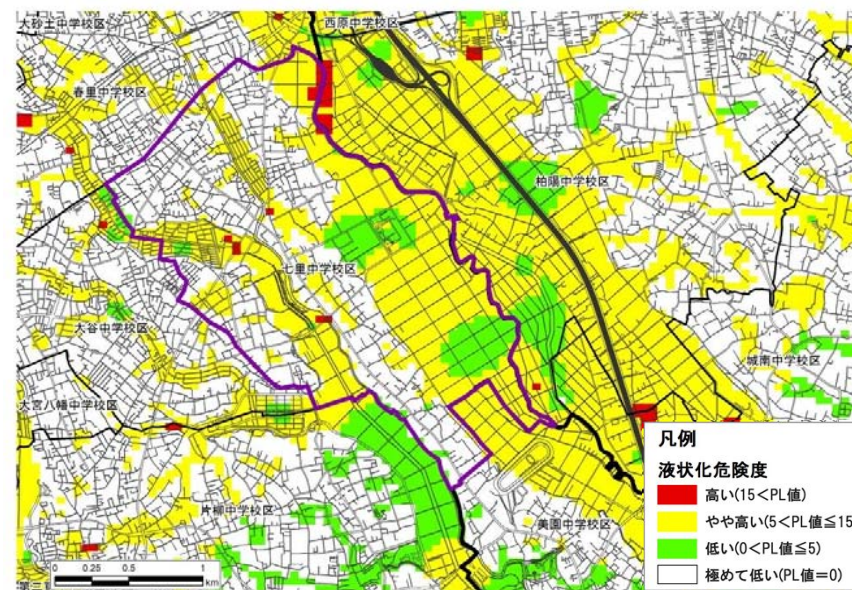
七里中学校区

見沼
MINUMA

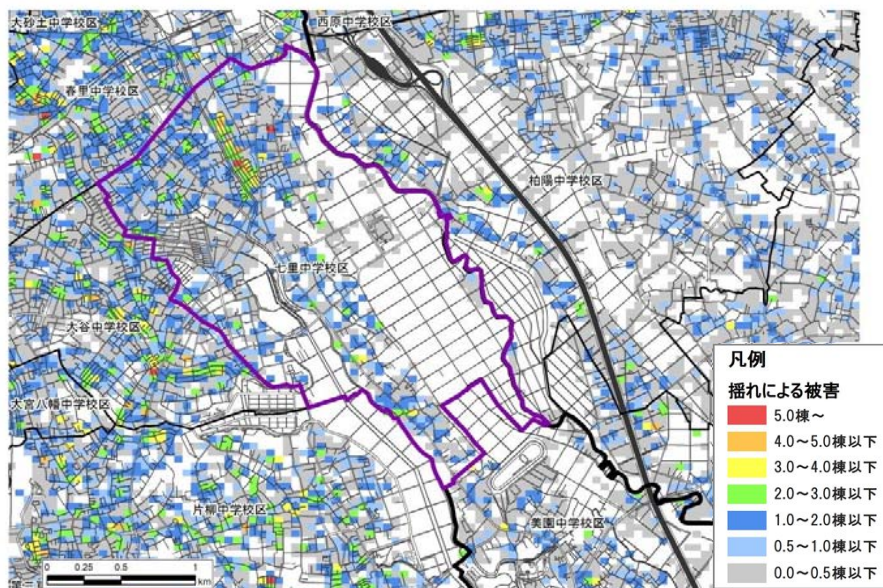
震度分布図



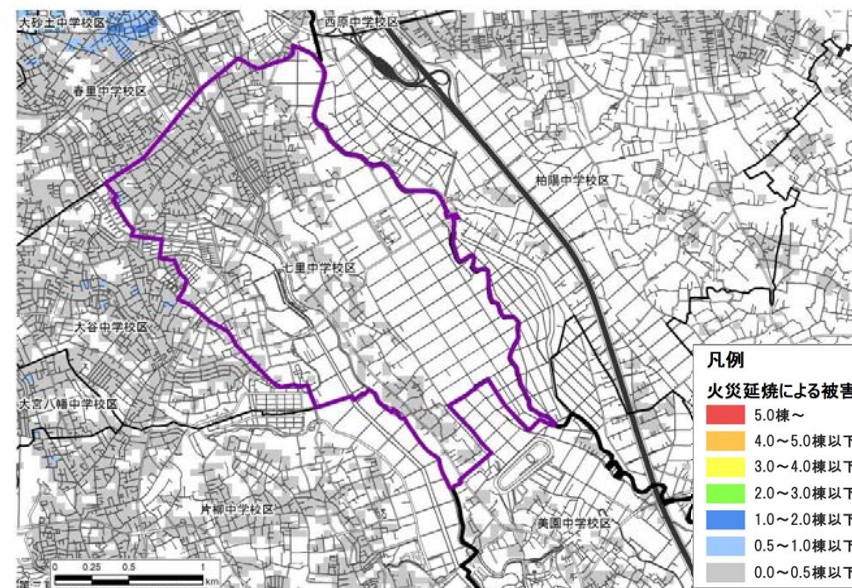
液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

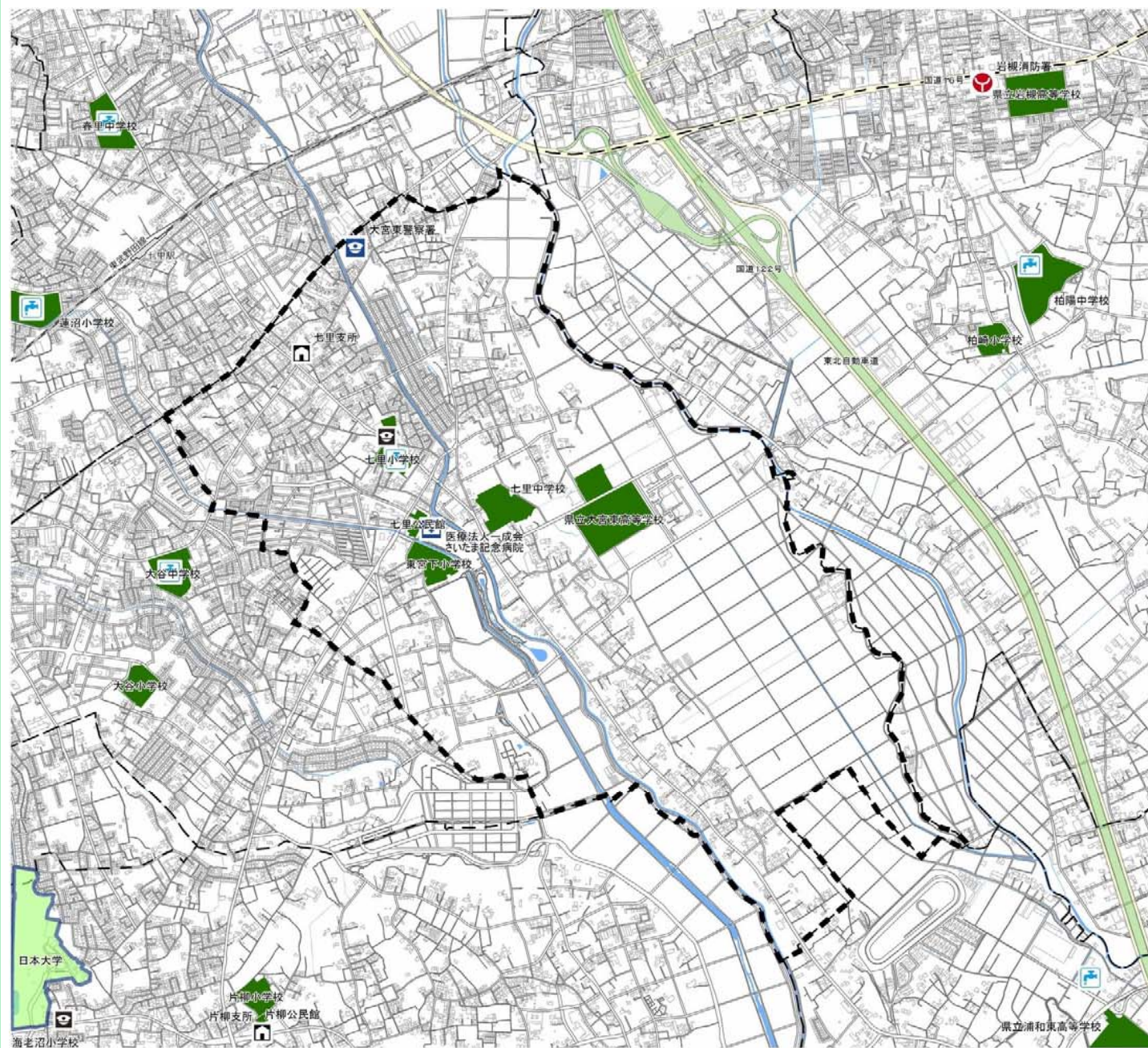


本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみよう。

③防災マップ

さいたま市防災カルテ

七里中学校区



凡例

	避難場所		消防署
	一時避難場所		消防署(出張所)
	広域避難場所		警察署
	市役所		交番・駐在所
	区役所		救急病院
	支所・市民の窓口		応急給水場所

(平成26年2月時点の情報で作成)

メモ欄

